



## 全体的演奏・演技の調和

### 全体的演奏・演技の調和

演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。

#### ○全体的表現

##### ・全体構成

「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。

##### ・音楽と視覚の調和

音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。

##### ・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

##### ・完成度

安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。

#### ○音楽的表現

##### ・表現

テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができているか。

##### ・バランスとブレンド

ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができているか。

##### ・強弱

美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。

##### ・統一感

イントネーション等がそろっているか。

#### ○視覚的表現

##### ・表現

テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができているか。

##### ・ポジションワーク

インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。

##### ・動作の鮮明度と同一性

動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。

##### ・リカバリー

ミスに対して適切な対応をしているか。

段階C (BOX C)	段階B (BOX B)	段階A (BOX A)	/100
良好	優良	優秀	
70未満	70以上85未満	85以上100満点	

全体的演奏・演技の調和 審査基準(クライテリア)	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテ(動き方を図とコメントで示したもの)の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。</li> <li>・ メンバー(演奏・演技者)の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。</li> <li>・ テンポの維持や変化が適切になされている。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。</li> </ul>
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができる。</li> <li>・ メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面が見受けられる。</li> <li>・ テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。</li> </ul>
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。</li> <li>・ メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果に訴えることができていない。</li> <li>・ テンポの維持や変化が不正確である。</li> <li>・ 楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールも不十分である。</li> <li>・ ポジションワークや形、タイミングが揃った動きの表現があまりなされておらず、リカバリーしようとする姿勢も不足している。</li> </ul>



## 全体的演奏技術と表現力

### 全体的演奏技術と表現力

演奏者の技術力や表現力が十分に調整されているかを全体的に判断する。

#### ○演奏技術

##### ・呼吸法

十分に息が吸えており、ブレスコントロールができているか。

必要な長さまできちんと息を使っているか。

##### ・音質

無理のない自然な響きで、それぞれの楽器の特性にあった音色が作られているか。

##### ・音程

チューニングが正確にされているか。

正しいピッチにより旋律、和音とも自然な響きが得られているか。

##### ・アーティキュレーション

曲想に合っており十分な多様性があるか。

よく統一されているか。

##### ・打楽器の奏法の統一

基本的な奏法が統一されているか。

#### ○表現力

##### ・ダイナミックレンジ

曲想に合った強弱の付け方ができているか。

##### ・フレージング

曲想に合ったフレーズ感を表現しているか。

##### ・バランスとブレンド

全体を通じて高音楽器から低音楽器までバランスよくブレンドされているか。

旋律やソロとハーモニーのバランスが良く、明瞭であるか。

##### ・スタイル

楽曲のジャンルの特徴や、楽曲そのものの個性を演奏者が十分に理解して表現しているか。

##### ・ミュージシャンシップ

観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。

段階C (BOX C) 良好 70未満	段階B (BOX B) 優良 70以上85未満	段階A (BOX A) 優秀 85以上100満点	<b>/100</b>
---------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------

全体的演奏技術と表現力 審査基準(クライテリア)	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法は統一されており、常に正確なブレスコントロールで、ダイナミックレンジや音域の高度な要求に対応している。</li> <li>・常に正確なチューニングと美しい音質で演奏し、乱れが感じられることはほとんどない。</li> <li>・常に安定したテンポと正確なタイミングで演奏されており、アーティキュレーションも曲想に合わせた奏法で統一されている。</li> <li>・曲想の解釈は細かい部分まで統一されており、表現の幅も十分である。また、常に楽曲の流れを考慮した表現がなされている。</li> <li>・全体を通し、常に曲想を理解した演奏が実施され、場面ごとのバランスやブレンドのコントロールがそろえられている。</li> <li>・楽曲のスタイルや特徴を十分に理解し、その個性を活かした表現をしようと試みており、ほとんどが成功している。</li> <li>・観客にアピールしようとする意志は十分に力強く、ほとんどの場面において意図した内容が伝わっている。</li> </ul>
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法はほぼ統一されているが、時折乱れ、不安定な響きや荒々しい音が聞かれる場面もある。</li> <li>・多くの場面でチューニングは正確にそろえられ、美しい音質で演奏しているが、時折乱れを感じることもある。</li> <li>・安定したテンポとタイミングで演奏されているが、時折アタックやリリースに乱れがあり、演奏の明瞭さやインパクトに欠ける場面がある。</li> <li>・場面ごとの曲想や音量に関する解釈はある程度統一されており、表現にある程度の幅を感じとれるが十分ではなく、楽曲の流れや表現の仕方が一致しない部分もある。</li> <li>・楽曲のスタイルや特徴を理解し、それを活かした表現を試みているが、時折不十分な場面がある。</li> <li>・観客を意識し、アピールしようとする姿勢は感じとれるが、十分でない為に意図した内容が伝わらない場面がある。</li> </ul>
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法を統一しようとする努力は見受けられるが、ブレスコントロールの乱れが多く十分な響きが得られていない。</li> <li>・正確なチューニングと美しい音質を保とうとする努力は見受けられるが、乱れる場面が多い。</li> <li>・テンポとタイミングに関する解釈はそろっているようであるが、アタックやリリースに乱れが多く、演奏の明確さやインパクトに欠ける場面が多い</li> <li>・場面ごとの曲想や音量に関して、統一された解釈があるようであるが、表現の幅が狭いために楽曲の流れと表現のしかたが一致しないことが多い。</li> <li>・楽曲のスタイルや特徴に関する理解が不足している。</li> <li>・観客を意識し、アピールしようとする努力が不足しているために意図した内容が伝わらない。</li> </ul>



日本マーチングバンド協会中国支部  
第41回マーチングバンド中国大会  
中学生の部

全体的演技技術と表現力

**全体的演技技術と表現力**

演技者の技術力や表現力が十分に調整されているかを全体的に判断する。

○演技技術

- ・スタイルの統一と適応  
FM、RM、MT、停止姿勢、ターン方法などが統一されているか。
- ・動作の完成度  
動作が正確に行われ、タイミングがそろっているか。
- ・楽器と手具の保持および使い方  
演奏・演技を行うにあたり楽器や手具などが適切に使われているか。
- ・列、間隔のそろえ方  
列をそろえるにあたり、その基準を理解しているか  
動きの中でインターバルやディスタンスの取り方を理解しているか。
- ・動作の転換とタイミング  
連続した動作が正確にスムーズに行われているか。

○表現力

- ・コミュニケーション  
表現を通して観客との対話がなされているか。
- ・ボディーワーク  
演奏している音楽に適した表現がなされているか。
- ・手具などの表現  
手具の扱い方や振付が音楽に適した表現となっているか。
- ・ショーマンシップ  
観客を意識し、アピールしようとする姿勢が統一されているか。

段階C(BOX C) 良好 70未満	段階B(BOX B) 優良 70以上85未満	段階A(BOX A) 優秀 85以上100満点	<b>/100</b>
--------------------------	------------------------------	-------------------------------	-------------

全体的演技技術と表現力 審査基準(クライテリア)	
段 階 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や動作、楽器や手具の持ち方等のスタイルは完全またはそれに近い状態で統一されており、良く洗練されている。</li> <li>・動作やタイミングは良くそろっており、ミスがあった場合のリカバリーも早く正確である。</li> <li>・フォーメーションの中で、列や間隔の乱れは非常に少なく、あったとしてもほとんど気にならない。</li> <li>・音楽に適した表現が良くできており、アピールしようとする姿勢も高い。</li> </ul>
段 階 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や動作、楽器や手具の持ち方等のスタイルを統一しようとする基準は認識できるが、不十分である。</li> <li>・動作やタイミングは概ねそろっているが、細部の調整が不十分な場面があり、ミスのリカバリーが遅くなることもある。</li> <li>・フォーメーションの中で、列や間隔をそろえようとする意識はあり、その合わせ方も理解しているようであるが、不十分な場面がある。</li> <li>・音楽を意識しているが、アピールしようとする姿勢が不足し、表現力に欠ける場面がある。</li> </ul>
段 階 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や動作、楽器や手具の持ち方等のスタイルを統一しようとする基準があいまいで、統一感が弱い。</li> <li>・動作やタイミングを合わせようとする努力は見受けられるが、不揃いな場面が多い。</li> <li>・ミスの自覚が乏しくリカバリーの機会を失う場面が多い。</li> <li>・フォーメーションの中で、列や間隔をそろえようとする努力は見受けられるが、不揃いな場面が多い。</li> <li>・音楽に関する理解度が不足し、アピールしようとする姿勢が少ないことが表現力の乏しさにつながっている。</li> </ul>